

# 刀剣納入で市外からの入館者2万人を想定

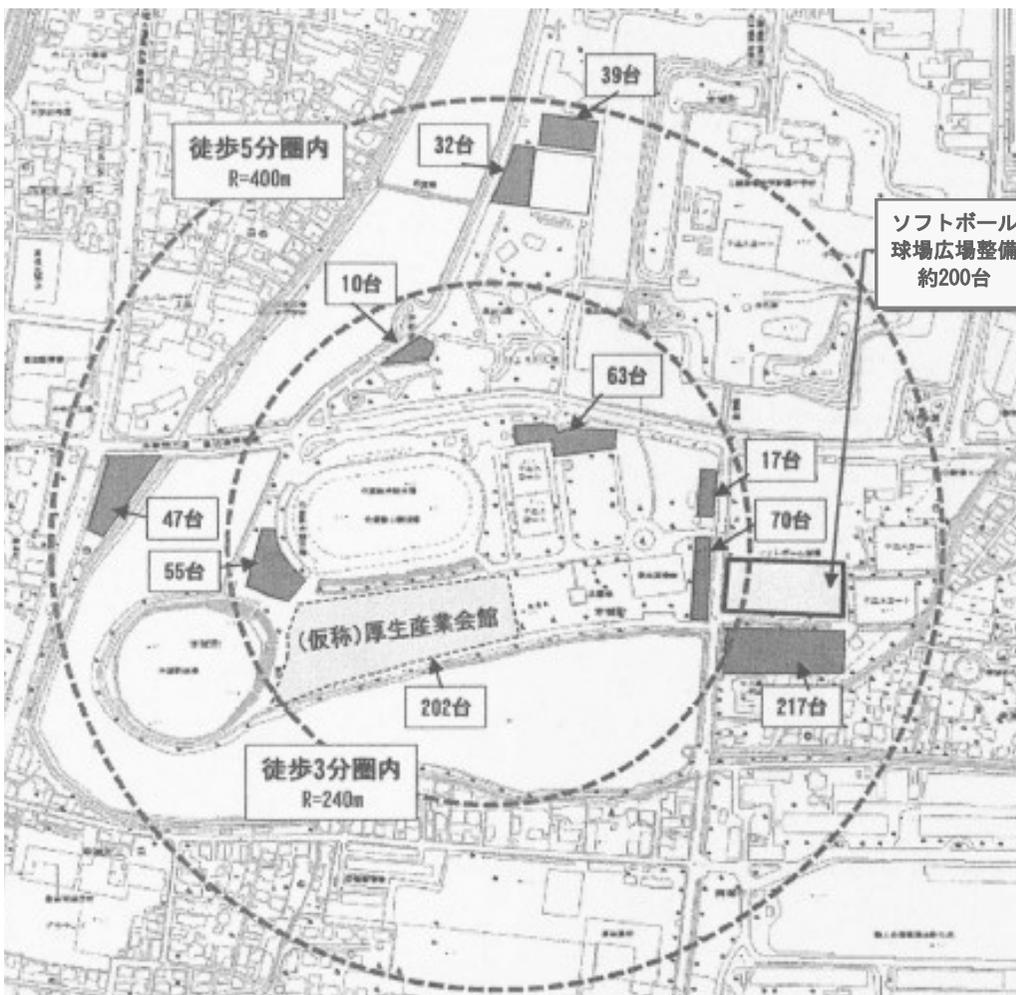
上越市はこのほど、(購入予定の国宝の)太刀を生かした観光振興策をまとめた「地域再生計画」を内閣府に提出しました。1月24日に行われた文教経済常任委員会にその概要が示されました。

計画では、「謙信公・景勝公が愛用した国宝『太刀無銘一文字(号山鳥毛)』を平成29年度で取得し、平成30年度にリニューアルオープンする総合博物館の展示品の大きな柱とすることで、多くの方から文化史的価値の極めて高い『国のたから』に触れることができる博物館となり、併せて本市が国宝を収蔵することにより、他の博物館などが所蔵する国宝や重要文化財を借用しやすくなることから、上杉家や謙信公のゆかりの品々を所蔵する博物館を始め、全国の博物館と連携し、質の高い企画展を開催することで集客力が向上し、交流人口の拡大を目指すものである。」としています。

そのうえで、「歴史博物館」としてリニューアルする予定の総合博物館の市外からの入館者を、表のように再来年度から2万人と想定しています。今年度の入館者が約1万2千人ですから、約1.7倍という想定です。国宝とはいえ、刀剣がそれだけの集客のきっかけになるかという点については、市民からも疑問の声が上がっています。3億2千万円という高額な刀剣の購入の是非を含めて、多くの市民のみなさんの声

が本当に生かされるように、慎重に検討する必要があります。ぜひ、みなさんのご意見を、下記までお寄せください。

事業の実施状況に関する客観的な指標 <重要業績評価指標(KPI)>	
年度	市外からの博物館入館者数
申請時(28年度)	12,205人(23,028人のうち)
初年度(29年度)	0人(改修工事のため)
2年目(30年度)	20,000人(40,000人のうち)
3年目(31年度)	20,000人(40,000人のうち)



みなさんのご意見をぜひお寄せください。

子どもにとっては、一時的にしろ、慣れない施設に行くのはかなりのストレスになるとの指摘もあります。

子どもにとっては、一時的にしろ、慣れない施設に行くのはかなりのストレスになるとの指摘もあります。

子どもにとっては、一時的にしろ、慣れない施設に行くのはかなりのストレスになるとの指摘もあります。

1月24日、文協経済常任委員会の協議会が行われ、(仮称)厚生産業会館の管理運営に関する大まかな方向が報告されました。

報告では、施設の名称について、昨年高校生から出された105の案から教育委員会が絞り込みを行っていること、開館時間を午前8時半〜午後10時とすること、上越市

また、開館記念イベントとして、今年9月の開館時から12月末頃までの期間にさまざまな行事を行うとの構想も示されました。

市民の間で心配されている駐車場の件では、図のように

最終的には合計約950台分を確保するとしています。しかし、中には施設からかなりの距離のところもあり、実際の使い勝手がどうなるかは今後の課題です。

注目の、春の観桜会の際の対応は次のような方向が示されました。

原則、公園内は駐車場として開放しないが、サークル活動等で公民館を定期利用する方々には、一般車両の乗り入れが制限される開花後の土曜・日曜日を除き、通行許可証の発行などにより、通常どおり駐車できるようにする。

# 観桜会中の子ども施設は?

(仮称)厚生産業  
会館管理運営

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 532 2017年2月5日

連絡先  
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

## 糸魚川市大火災被災者支援に合計80万円届ける

先月22日に発生した糸魚川市の大火災では、日本共産党としていち早く上越地区対策本部(上野こうえつ本部長)を設置し、被災者支援を行ってきました。

その一環として広い市民に呼びかけて集約した募金をとりまとめ、1月28日に2回目として40万円を糸魚川市に届け、1回目と合わせて届けた募金は合計80万円となりました。ご協力くださいました皆さんに、この場をお借りして心よりお礼申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

日本共産党  
上越地区委員会